

おくり

平成20年 7月

No.125



議会だより

■発行 奥尻町議会 ■編集 広報編集特別委員会 ☎01397 2-3412 番 FAX01397 2-3929 番



スポーツフェスタ檜山大会

(7月5～6日 奥尻町)

平成20年第2回定例会 …… 各会計補正予算、条例改正

一般質問 …… 青坂賢二議員 ・ 制野征男議員

第2回定例町議会

平成20年第2回定例会は、6月19日に招集され、専決処分、平成20年度各会計補正予算、条例等を審議し、いずれも可決され、19日に閉会しました。

専決処分

▽平成19年度一般会計補正予算(第9号)

.....承認

地方譲与税、地方交付税等確定に伴う予算措置で、歳入歳出それぞれ、4百30万1千円を追加し、予算総額は、37億4千2百84万7千円となりました。

▽平成19年度奥尻町国民健康保険直営診療所特別会計補正予算(第3号)

.....承認

診療業務委託料確定に伴う予算措置で、歳入歳出そ

れぞれ、47万6千円を追加し、予算総額は、3千6百8万6千円となりました。

▽平成19年度奥尻町老人保健医療事業特別会計補正予算(第3号)

.....承認

支払基金交付金、国庫支出金等確定に伴う予算措置で、歳入歳出それぞれ、1千65万2千円を減額し、予算総額は、3億9千7百33万9千円となりました。

▽平成19年度奥尻港港湾施設用地造成事業特別会計補正予算(第2号)

.....承認

港湾使用料調停額確定等に伴う予算措置で、歳入歳出それぞれ、5万3千円を減額し、予算総額は、3千1百1万1千円となりました。

▽平成19年度奥尻町公共下水道事業特別会計補正予算

(第4号)

.....承認

下水道使用料調停額確定等に伴う予算措置で、歳入歳出それぞれ、11万4千円を減額し、予算総額は、1億3千4百67万1千円となりました。

▽奥尻町国民健康保険病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

.....承認

健康保険法施行規則等の一部を改正する省令に伴い、関係法令に準拠し、本条例の一部改正を行いました。

▽奥尻町手数料条例の一部を改正する条例

.....承認

戸籍法の一部改正に伴い、引用条文が変更になるため、本条例の一部改正を行いました。

▽奥尻町税条例の一部を改正する条例

.....賛成多数で承認

地方税法等の一部を改正する法律等が原則として平成20年4月30日から施行されたことに伴い、関係法令に準拠し、一部改正を行いました。

▽平成20年度一般会計補正予算(第1号)

.....承認

老人保健医療事業特別会計繰出に係る予算措置で、歳入歳出それぞれ、82万8千円を追加し、予算総額は、33億1千1百28万円となりました。

▽平成20年度奥尻町老人保健医療事業特別会計補正予算(第1号)

.....承認

老人医療費負担金確定に伴う予算措置で、歳入歳出それぞれ、1千2万5千円を追加し、予算総額は、4千5百60万3千円となりました。

補正予算

▽平成20年度一般会計補正予算(第2号)：原案可決
歳入歳出予算に1億4百22万7千円を追加し、予算総額は、34億1千5百50万7千円となりました。
補正の主な内容は、次のとおりです。

諸支出金

2百17万8千円
□平成20年度奥尻町老人保健医療事業特別会計補正予算(第2号)：原案可決
過年度医療給付費等精算金9百77万7千円などを追加し、予算総額は5千9百5万6千円となりました。

〔歳入〕
国庫支出金 10万3千円
道支出金 9千2百44万2千円

□平成20年度奥尻町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)：原案可決
工事請負費1百29万円などを追加し、予算総額は1億4千1百37万1千円となりました。

繰入金 9百77万7千円
諸収入 1百90万5千円

〔歳出〕

総務費 6百77万8千円
民生費 88万4千円
衛生費 79万8千円
農林水産業費△34万2千円
商工費 6百3万円
土木費 8千7百90万1千円

□平成20年度奥尻町国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第1号)：原案可決
医業費用2千8百11万8千円などを追加し、予算総額は7億9千1百36万1千円となりました。

その他

○奥尻町農業委員会委員定数条例：原案可決
農家数の減少等により、組織のスリム化を図り効率的な業務運営を確保するため、定数を7名とする条例が制定されました。

○奥尻町農業委員会委員の推薦について：原案可決
農業委員会委員の任期満了に伴い農業委員会等に関する法律第12条第2号及び奥尻町農業委員会委員定数条例の規定による議会推薦の農業委員会委員を、長谷川 博氏(字富里)を推薦し、決定されました。

た。

同委員会は、会期については2日間とし、各団体から要請されていた意見書については4意見書について、各委員による提案とすること等を決めました。

意見書を提出しました

次の意見書を関係機関に提出しました。

◎「アイヌ民族に関する総合的施策確立のための審議機関設置」に関する意見書

◎地方財政の充実・強化を求める意見書

◎地域医療の確保に関する意見書

◎離島・奥尻島における揮発油税の減免措置等を求める意見書

決議文を採択しました

次の決議文を採択しました。

◇支庁制度改革に対する決議

◇ごみ焼却施設運転業務委託、焼却施設定期点検委託の平成19年度並予算での業務委託契約の継続を求める決議

※環境センターのごみ焼却施設の運転業務などを昨年度並みの予算で来年3月まで委託契約にすることを求める決議が賛成多数で採択されました。

3月議会で議論され、町長は環境センターのごみ焼却運転業務について、予算の執行は昨年度並みの予算で行うと発言しましたが、契約は6月30日までととなっていました。

議会運営委員会

6月16日に議会運営委員会が開かれ、19日から開催される6月定例町議会の議事運営について審議しまし

このため、宥尾議員が提案者となり、賛同する6名の議員が発議して、決議案の提案となり、賛成8名、反対1名で採択となったものです。

総務文教 常任委員会

4月28日開催された同委員会の概要についてお知らせします。

【住民課関係】

住民課から平成19年度3月末までの町民税、固定資産税、国保税などの収納実態について報告がされました。

委員から「国保税は93%を下まわっており、5月の出納閉鎖期まで収納率をあげなければまたペナルティを受けるが、見とおしはどうか」との問いに、「全力を尽くします」との答えがありました。

【環境センター関係】

紀伊国委員長から「環境センターのごみ焼却施設運転業務の委託関係についての方向付けを審議したい」と発言がありました。委員から「環境センターの委託関係については閉会中の継続調査として議会の議決を経していない。方向付けということは委員会としての是非を決めることを意味するが、閉会中の継続調査の議決をしていないので調査はできない。報告を受けるということだけになるものであり、それならば報告は受ける」との発言がされ、他の委員も同調しました。

この発言を受けて総務課長は「それなら報告しません」と発言があり、委員から「報告しようとした内容は3月議会での答弁の内容とは異なるのか」との質問に「同じです」と総務課長は答えました。

《その他》

総務課長から「フェリー

会社への接岸料金について、全額免除しているが、町の財政状況から今後の免除のあり方について検討している」との報告がされました。

町村議会議長会 定期総会



北海道議会議長会川股会長から表彰状を授与される新村議長

6月5日(木)午後1時30分から、ポールスタール幌2階ホールにおいて、北海道町村議会議長会(会長川股博)の定期総会が開催されました。その席で、新村議長が7年以上の議長

在任ということ、受賞者となり、更には受賞者の代表受賞者として、表彰状が授与されました。



新村議長から表彰状を伝達される宥尾裕志議員

また、宥尾裕志議員は、15年以上町議会議長在任ということ、同じく北海道町村議会議長会から表彰され、その伝達式を第2回定例会開会前に行いました。

議員研修会

7月1日に札幌で北海道町村議会議員研修会が開かれ、奥尻町議会議員10名が

参加し、朝日新聞編集委員の坪井ゆづる氏の『分権改革と地方議会のこれから』、政治評論家の三宅久之氏の『混迷する政局と日本の進路』と題し講演が行われました。



▼坪井氏は、地方議会の現状をデータ解析しながら解説を加え、開かれた議会、民意を忠実に反映させるような議会を目指すべきだとし、女性議員の割合を増やすことや、自治基本条例の制定や住民投票によって決定する制度などの必要性を話されました。



▼三宅氏は、衆議院と参議院のいわゆる「ねじれ国会」によって、政局が混迷を深めていることや日本の人口が減少していることに触れ、人口の増加政策により、経済力を向上させることなどを話されました。



一般質問

保険料の負担増をどう考えているか

青坂 賢二 議員

質問

後期高齢者医療制度が4月から始まり、毎日のように新聞・テレビ等で報道されていますが、扶養家族だった人が新制度になり、新たに保険料が増となるようです。がん検診や人間ドックなど高齢者負担を少しでも支援すべきと思いますが、町長の考えを伺います。

軽減策が講じられている

和田 良司 町長

答弁

今まで社会保険・共済・健保等の扶養家族であったため、保険料を払っていなかった方も、新たに保険料を負担することになっており、このような方には保険料の軽減策が講じられています。がん検診は、一般の方には約3割の自己負担をお願いしているが、70歳以上の高齢者の方には更にその5割の軽減策を実施しており、また、人間ドックについて



は今年度から特定健康診断が実施されるため、廃止することとなっています。

年度末における財政調整基金の残高とふるさと納税を問う

制野 征男 議員

質問

人口による納税実態と地方交付税の算定との格差が発生している自治体があり、全国的に話題を呼んでいます。奥尻町の実態はどのようなになっているのでしょうか。厳しい財政状況から、「ふるさと納税」と「所得税」の寄付金控除となる町づくりの具体策を講じた寄

付を募る条例の制定を急ぐべきではないですか。

財政調整基金は8千7百万円、ふるさと納税関連は検討中

和田 良司 町長

答弁

平成19年度末で9千6百万円の残高ですが、平成20年度末の財政調整基金は地方交付税の動向にもよりますが、8千7百万円を見込んでいます。減債基金・その他特定した基金の総額では1億7千1百万円の見込みです。「ふるさと納税」の関連では、道のアンケート調査には「検討中」と回答していますが、奥尻町として、「寄付者の寄付金の使途の意向を可能な限り町政にどのように反映できるか」など役場内部に指示していますので、もう少し時間を必要としています。



住民が安心して受診できる体制の確立を急ぐべき

制野 征男 議員

質問

救急車で搬送されても診療を拒否する医師、丁寧な説明をしない医師などで特定な医師に受診が集中している病院の体制は放置できません。「地域の医療を考

処分は訓告に、2名の医師とは1年契約とした

和田 良司 町長

答弁

奥尻の地域医療を考える会の答申があれば、その内

観光振興の中長期の具体的な施策を示せ

制野 征男 議員

質問

奥尻町として観光振興策について中長期の展望と優先策を町長の口から聞き出すことはできません。5年後に7万5千人の観光客の誘致を目指すとしているけれども、町長としての任期は9ヶ月しかありませんが、戦略、戦術について周知されたい。大型バスの復路無料のキャンペーン事業の継続の有無について、いつ結論を出すつもりなのか。基準年とした平成3年の観光客数よりも、1万人も減少している実態から今後の対応について早急に結論を出す時期にきています。旅行代理店は来年度の商品についてすでに着手しています。

答弁

短期、中期の観光戦略の具体的方向として奥尻島観光客倍増プロジェクト、人、自然、食がもてなす奥尻観光の重点目標として取り組んでいます。

これは奥尻町全体の計画であり、その実行と効率的な実施体制を求めるため、官民挙げての組織として、



人、自然、食がもてなす奥尻観光が重点目標

和田 良司 町長

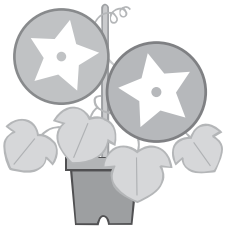
レジ袋廃止と商店街活性化対策は

制野 征男 議員

質問

推進協議会をたちあげています。大型バスの復路無料の助成事業については、今年度は、来年度以降の必要性を判断するための検証する年度としているもので、過去の経緯と今年度の推移を見て9月中には結論をだしたい。

昨日、地球温暖化、二酸化炭素の削減はもとより、ごみの減量、無駄を省く意識の高揚が図られる中、他管内でも行われている各商店でのレジ袋廃止について商工会に申し入れて協議し各世帯にマイバックを配布する意向を持つべきではないですか。また、商店の活性化対策



として、町長と役場職員のボーナスの5%を商品券で支払うことで活性化を図れと提起しましたが、役場での議論はどのような推移をみているのか伺います。



広く議論できる
環境整備に努める

和田 良司 町長

【答弁】

レジ袋廃止については、地球温暖化防止等国民的関心事となっている現実を踏まえ、即レジ袋の有料、マイバツクの配布ありきでは

なく、町民に広く議論できる環境整備に努めます。また職員の給料を商品券で支給することについては、給与支給の定め等から即実行にならないと考えられますが、職員と共に地元商店の売上向上に協力・努力し、商工会においても、役職員総力をあげて売上向上に努めていただくことを期待しています。

壁画「サムーン」は
緑化し覆いを

制野 征男 議員

【質問】

壁画サムーンは色が薄くなり、最近パネルも剥げ落ちるといふ事態となり、奥尻島の玄関口となる場所からしても、景観上も見苦しく放置できない事態であり、復元するには町にとって負担の費用ではなく、復元せずにネットを張

り、四方から豆科の「くず」をはわせることでサムーンを覆い隠すべきです。

パネルを外すという手法もありますが、樹木で隠すこと、それも極めて少ない経費で実行し、壁画が下に滑落する危険を防止できると思いますが、町長の認識を問います。



撤去し緑地帯として
保全するのが望ましい

和田 良司 町長

【答弁】

町のシンボルとして15年を経過する中で、壁画サム

ーンの損傷は著しく、急斜面に設置されていることから原型を保持するには困難となっているので、この際撤去し緑地帯として保全することが望ましいと思いません。

しかし、壁画を撤去するにしても、町財政の中で実施できる状況ではないので、営林署との協議を十分重ねていかなければならないと考えております。

エスコ事業の
研究・検討を

制野 征男 議員

【質問】

エスコ事業とは、事業者が工場、ビル、官庁などに対して、照明、空調、冷暖房等のエネルギー設備を省エネに改良転換することを提案し、その後の結果までを保証する事業で、設備費用については事業者が負担

し、省エネされた経費の範囲で償還をしていくという方法です。

最近ではエスコ事業の導入を決めた自治体もふえ、老朽化した設備を更新したくともできない財政難の自治体を救う手段として検討に値する方策なので、当町でもエスコ事業を緊急に研究・検討するべきではないですか。

協議し対応したい

和田 良司 町長

【答弁】

エスコ事業について概要は聞き及んでいましたが、詳細については把握していません。しかし、当町では国保病院と奥尻小学校体育館の温風暖房施設が交換の時期にきているので、今後は関係各部署と協議しながら対応したいと考えます。

議会のうごき

4 月

- 11日 議員全員協議会開催
 19～21日 第35回東京奥尻島人会総会及び新春懇親会（東京都）議長及び議員1名出席
 21～22日 檜山管内町村議会議長会定期総会（江差町）議長出席
 28日 総務文教常任委員会開催
 27～29日 檜山町村会並びに檜山管内町村議会議長会会長・副会長打ち合わせ会議（江差町）議長出席

5 月

- 19～23日 第33回町村議会議長研修会・平成20年度檜山総合開発期成会総会（東京都・江差町）議長出席

6 月

- 4～6日 北海道離島振興町村議会議長会決算監査並びに協議会・北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）議長出席
 8～10日 支庁制度改革にかかる抗議行動・決起集会（札幌市）副議長出席
 16日 議会運営委員会開催
 19日 第2回町議会定例会開催
 25日 広報編集特別委員会
 25～27日 支庁制度改革に関する緊急集会並びに平成21年度管内懸案事項要望（札幌市・函館市）議長出席
 30～2日 北海道町村議会議長会主催議員研修会（札幌市）議長及び議員9名出席

編集を終えて

早いもので北海道南西沖地震から15年がたちました。「火災保険金を請求する会」「奥尻の復興を考える会」「家財家具の支援を求める会」など被災者が中心となって、全国から寄せられた義捐金の使途について、被災者の生活支援を優先した「全国に誇れる支援策を打ちたてよう」を合言葉に、頑張り抜いた人たちの記憶が鮮やかによみがえってきます。お金だけを要求しているのではない、優れた支援策を実現することが、義捐金をくれた人たちへの恩返しになるから、との深い思いを語っていた被災者。地域住民の見事な団結力で勝ち取った成果。団結を促し、突き動かしていたものはなにか。今、その力が求められている奥尻ではありますが・・・。

昨今の地震災害に胸を痛めながら、奥尻での支援策が少しでも被災者の生活の改善に役立てられていることを願わずにいられない。